

令和6年(2024年)5月28日(水)
長 万 部 高 等 学 校

第1回学校運営協議会 議事録

日 時：令和6年5月27日（火） 18:05～19:00

場 所：北海道長万部高等学校 芸術教室他

参加者：17名

運営委員 11名

赤塚 顕爾 氏、小野 雄二 氏、亀田 純孝 氏、小林 隆弘 氏、午耒 睦美 氏、
斉藤 和博 氏、佐藤 望美 氏、辰巳 治典 氏、中野 美貴 氏、丹羽 輝久 氏、
三浦 祐真 氏

オブザーバー2名

附田 隼人 氏、柴野 貴史 氏

長万部高等学校4名

樋口 智一 教頭、沢瀬 久美子 教務部長、松谷 良子 教務部副部長、
沼田 優太郎 教諭（地域連携担当教諭）

全体会 18:05～18:30

1 開会の言葉

- ・校長欠席
- ・赴任して約2ヶ月

2 校長挨拶（教頭代読）

3つのF（Frankly Friendly Future）

3 学校運営協議会について（教頭）

委嘱状が届いていない関係で代表して小野さんに委嘱
他2名は後日お渡しする

4 自己紹介

5 会長選出（以降、会長が進行）

赤塚 会長

6 学校運営協議会について（教頭）

本校は昨年度より実施 年間3回

昨年度を受けて今年度何ができるか、部会で話し合っていたきたい

小野さん）部会の割り当ては希望だと思うが、前年と一緒なのか？

教頭）前年度からいる人は継続

7 学校概要について（教頭）

資料説明

8 諸連絡（教頭）

・楽メ登録のご案内

・6月12日（水）CSについての勉強会のご案内 〆切5月31日 教頭まで

9 閉会の言葉

分科会 18:30～19:00

◎探究部会

・今年度も地域人材を活用しての探究活動は行えると思うが、各テーマの具体性があると地域住民としては非常に助かる。テーマ設定が鍵を握る。

・探究の形態をグループに拘らなくても良いのではないか。（似ているテーマであれば、グループ化・ペア化するなど柔軟に対応できると良いのではないか。）

・中学校との連携が希薄。中学校3年間で興味・関心の持ち方や課題設定などに関して、事前に指導してもらい、高校ではそのことをベースに取り組むとより質の高い探究活動になるのではないか。

・高校生が中学校へ出前プレゼンに行く際には「探究」をもっとPRしても良いのではないか。

◎地域連携部会

1 毛がにまつりについて

・昨年度の振り返りで、土曜日のみならず、日曜日の参加も検討できないかどうか。

検討の結果、今年度は日曜日の参加となる。

・長万部商工会より（赤塚会長）1・2年生のお手伝いについては、各店舗へのお手伝い（体験実習のような形）で参加を検討している。詳しくは、出店者会議にて後日、決定する予定。

・毛ガニまつりの参加・活動については、良いPRになる機会なので、ぜひ継続して欲しい。

・はしっこ同盟の参加について、町のPRにぜひ連携できたら良いのではないか。

2 学校祭PTA 模擬店について

・昨年度より数年ぶりに活動していただいている。

今年度は、生徒からのアンケートを基に可能な限り（保健所の許可が出たメニュー）、手作りの物を提供できればと考えている。

・昨年度、実施していただいたかき氷については、生徒（1学年）で実施を検討しているので、機械のみ赤塚商会から借用させていただける。

・生徒と重ならないメニュー、ご協力・参加していただける保護者の方と、6/10（月）の打合せにて、検討・決定していく予定。

・開催場所について、調理室にて調理、晴天時・雨天時に関わらず、体育館にて販売予定。

3 生徒募集について

- ・黒松内中学校へのPRについて、様々な行事に可能な限り、参加していただきたい。
(毛がにまつりや長万部高校学校祭など)

黒松内中学校(午未校長先生)のPRの仕方としては、チラシやポスターなどあれば、学校で掲示して生徒へも宣伝しやすい。

まずは6月のオープンスクールへの積極的な参加をお願いしたい。

4 その他

- ・学校祭の花火について

町や学校の活性化の為、ぜひ実施してもらいたい声が上がっている。

長万部町青年部で資金繰り含め検討しているらしい。

→ただし、学校祭度の日程等、調整しなければならない問題もあるため、どのような展開になるか未確定である。

◎学力向上部会

1 授業公開週間・広報活動について

- ・町の広報に掲載してはどうか。広報は前月15日〆切で学校教育課に連絡をすると良い。
- ・黒松内でも広報に出すことはできる。また、回覧板も月に2回ある。
- ・長万部町内、黒松内町内でも目に付くところにチラシを置き、情報提供をすると保護者から子どもに「いいんじゃない？」という話ができるのではないかな。
- ・学習文化センターに常に学校案内を常に10部ほど置いておくことは可能。少なくなってきたら補充
- ・総合的な探究の時間等で、生徒が主体的に動いているのは良いアピール材料である。中学生は高校生の姿を見てみたいのではないかな。

2 生徒募集について

- ・寿都高校、蘭越高校は黒松内町までバスで送迎している。長万部はどうしてもJR廃線があるので弱い。
- ・昔、寮として受け入れ先を探したこともあったが、なかなかなかった。
- ・長万部中3年生は、伊達に行きたい子が多いと聞いている。都会に出たい、新しい人間関係を築きたいという理由でしかない。
- ・はしっこ同盟を活用し、黒松内だけでなく豊浦町にも宣伝していいのではないかな。今金、八雲にもPRしてはどうか。